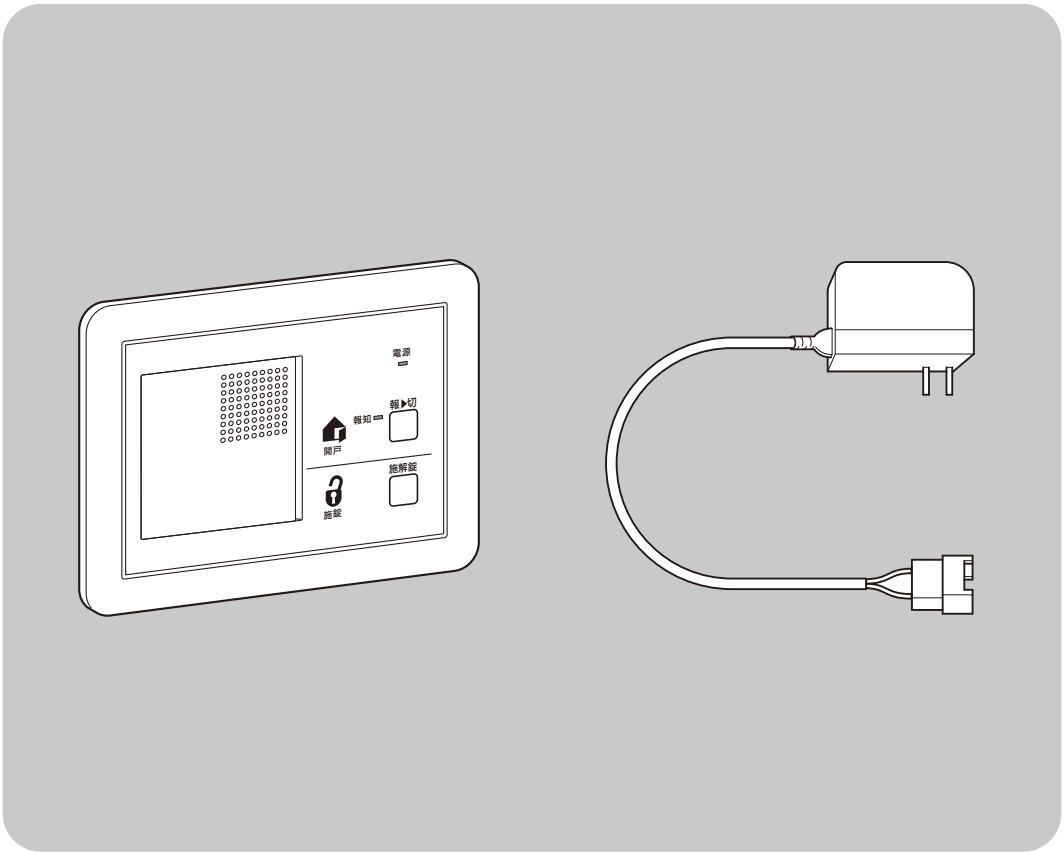
工事店さま用

LIXIL

FamiLock AC100V式

取付け説明書



取付け作業にあたって

●この説明書では、お客さまの安全と製品を正しく取付けしていただくにあたり、重要な内容を記載しております。ご留意いただき、作業してください。

電気錠取扱いポイントブック

電気錠を正しく設置・施工いただくために、各工程ごとの注意点をまとめたポイントBOOKをご確認いただけます。
（設計・組立・施工・電気工事店様向け）
https://s.lixil.com/door-001

電気錠に関するトラブル診断やご使用方法などがご確認いただけます。

玄関ドア 電気錠サポート

https://www.lixil.co.jp/support/q/d/de03.htm

目次

	ページ
■取付けされる方へのお願い	
機器の設置で注意していただきたいこと	1
■システム構成と作業手順	2
取付け部品一覧	3
電気錠取付け手順	
梱包内容	4
■ドア枠への部品取付け	
マグネットの取付け	6
通電金具（枠側）の取付けと躯体内配線コードの接続	
■ドア本体への部品取付け	
電動サムターンの取付け	8
屋外側化粧プレートの取付け	
通電金具の接続	9
建付け調整	
■機器の取付け、配線工事	
AC アダプターの取付け	10
コントローラーユニットの取付け	11
配線工事・接続方法	12
パナソニック製 外でもドアホン使用時の接続について	14
システム配線図（オプション品）	16
■作動確認	
AC アダプター式の作動確認	17
コントローラーユニット式の作動確認	
カードキー・タグキー・リモコンを使った作動確認	18
人感センサ連動モードの作動確認（オプション品）	19
ドアのブザー音と LED 表示について	20
コントローラーユニットのブザー音と表示について	21
■商品仕様	22

取付けされる方へのお願い

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●電気工事は、電気工事士の有資格者が行ってください。

●本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

⚠警告…取付けを誤った場合、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

⚠警告

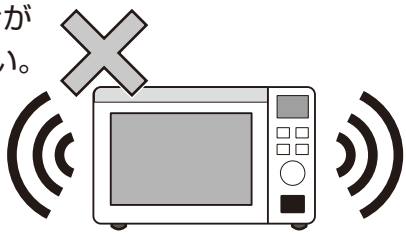
● AC100V 用電源線は指定の箇所に指定の方法通りに差込んでください。
差込みが不十分な場合、火災や破損のおそれがあります。

●コントローラーユニットなど AC100V を直接接続する機器の取付けは、ブレーカー（AC100V）を切った状態で行ってください。 感電のおそれがあります。

■機器の設置で注意していただきたいこと

●次のような場所への玄関ドアの設置は避けてください。
故障や正しく作動しない原因になります。

・軒が短く扉を開けた際に扉に直接雨水がかかるところ。
・他の電波式機器から 2m 以内のところ。
・電子レンジなどの電波的なノイズを出す電化製品から 2m 以内のところ。
・玄関ドアが電波を通しにくい壁や金属物で囲まれているところ。
・本製品の使用環境温度範囲は−10℃～ 50℃、使用周囲湿度範囲は 20% ～ 90% RH です。温度が上昇するところ（直射日光・直接暖房が当たるところ・ボイラーの近くなど）や−10℃よりも温度が低くなる場合があるところ、通気性が悪く湿気の多いところには使用しないでください。また、寒冷地では、風除室を設置してご使用をおすすめします。

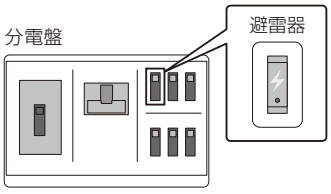


●屋内に取付ける機器（コントローラーユニットなど）は、
次のような設置場所は避けてください。故障や感電等の原因になります。

・水や雨のかかる場所や直接湯気がかかる場所、湿気の多い場所
・極端に寒い場所・暑い場所（冷暖房の近くや直射日光の当たる場所）
・ガラス窓から近い場所（ガラスを破られ、施解錠ボタンから解錠されることがあります。）

●玄関ドアとコントローラーユニット間が付属の躯体内配線コード（10m）で届かない場合は専用の躯体内配線コード（15m、20m）に取り換えてください。配線を継ぎ足す延長はできません。

●避雷器 (市販品) の設置をおすすめします。避雷器によって雷サージから機器を保護することができ、トラブルを未然に防ぐことができます。

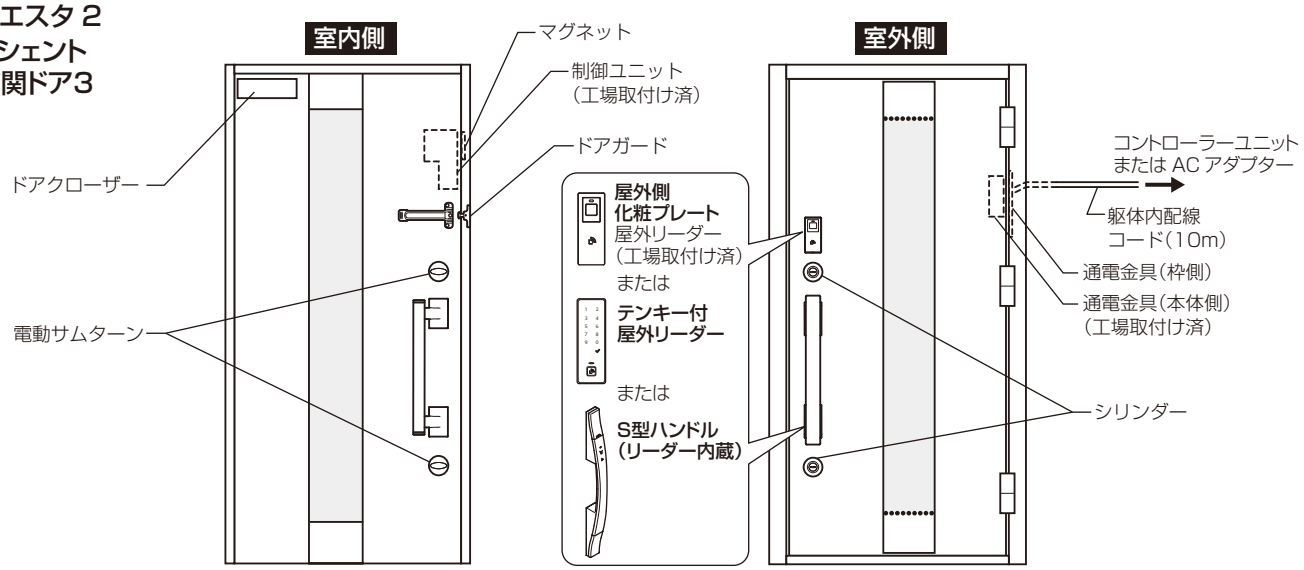


システム構成と作業手順

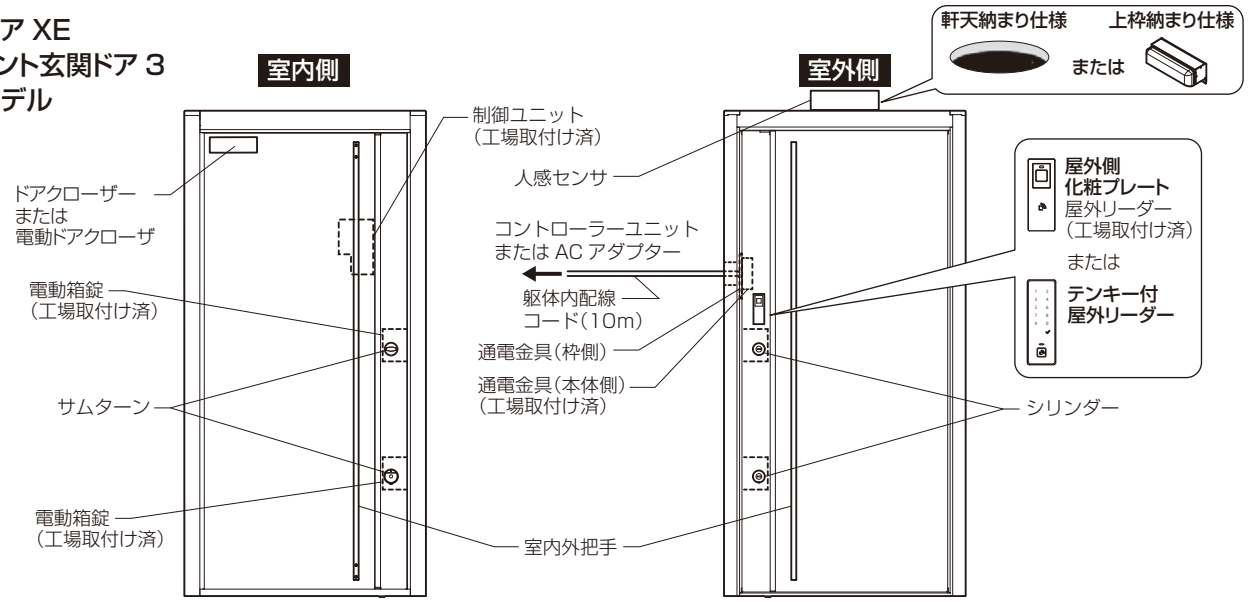
■取付け部品一覧

※実際の製品の仕様と異なる場合は部品に付属の取付け説明書を確認ください。

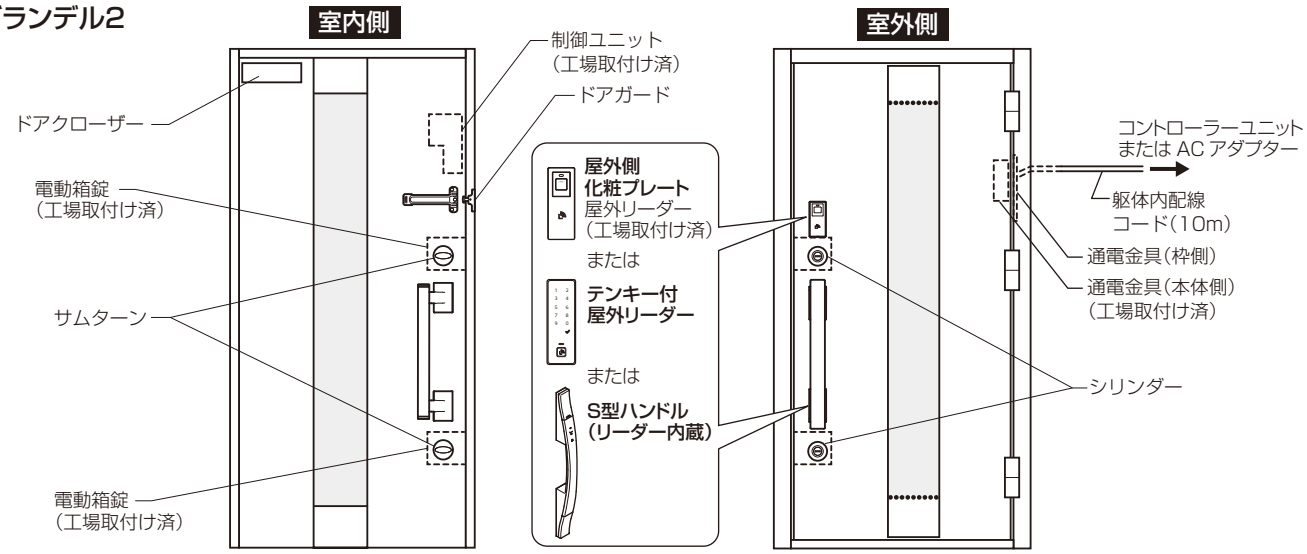
●ジエスタ 2
●リシェント
玄関ドア3



●玄関ドア XE
●リシェント玄関ドア 3
XE モデル



●グランデル2



※テンキー付屋外リーダーは、製品仕様によって選択できない場合があります。

■電気錠取付け手順

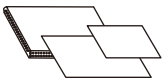
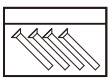
●電気錠の取付け手順の一例と本紙に記載している内容を以下にまとめてあります。
作業区分がサッシ工事と電気工事で分かれますので作業にぬけやモレが無きように進めてください。

サッシ工事区分		電気工事区分
●ジエスタ２ ●リシェント玄関ドア３	●玄関ドア XE ●リシェント玄関ドア3XEモデル ●グランデル２	●共通
ドア枠の組立て、部品の取付け		
■マグネットの取付け	マグネット（ストライク組込み）［工場取付け済］	
■通電金具（枠側）の取付けと躯体内配線コードの接続		
ドア本体へ部品の取付け		
〔箱錠の取付け〕	電動箱錠［工場取付け済］	
■電動サムターンの取付け	〔サムターンの取付け〕	
■屋外側化粧プレートの取付け 〔テンキー付屋外リーダーの取付け〕 〔S型ハンドルの取付け〕	この3つの部品のいずれか1つを取付けます	
躯体木枠への配線切欠き加工［大工工事区分］（※1）		
ドア本体の吊込み、建付け調整		
〔サッシ枠の取付けとドア本体の吊り込み〕		
■通電金具の接続		
■建付け調整		
機器の取付け、配線工事		
■ACアダプターの取付け（※2）		■ACアダプターの取付け（※2）
		■コントローラーユニットの取付け
		〔人感センサの取付け〕
〔電動クローザの取付け〕		〔電動クローザの配線取付け〕
		■配線工事・接続方法
作動確認		
■ACアダプター式の作動確認（※2）		■ACアダプター式の作動確認（※2）
		■コントローラーユニット式の作動確認
■カードキー、タグキー、リモコンを使った作動確認		
■人感センサ連動モードの作動確認（オプション品）		

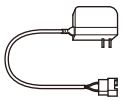
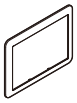
※〔　〕内の項目の取付け方法については各部品に付属の取付け説明書を参照ください。
※1）ドア枠に同梱されている「玄関ドア〔枠〕取付け説明書」を参考に作業を行ってください。
※2）ACアダプターをコンセントに挿し込むだけの場合はサッシ工事区分ですが、コンセント工事等が発生する場合は電気工事区分になります。

■梱包内容

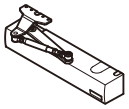
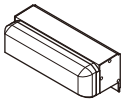
●部品箱(エントリーセット)

	玄関ドアXE	ジエスタ2	グランデル2	リシェント玄関ドア3	
					XEモデル
カードキー3枚(クリアケース入り) または タグキー3コ	○	○	○	○	○
	カードキー／タグキー選択によりいずれか同梱				
標準キー収納リモコン	○	○	○	○	○
	リモコン入りセットの場合(1コまたは2コ)				
屋外側化粧プレート (S型ハンドルの場合、テンキー専用セットの場合は同梱されておりません)	○	○	○	○	○
取扱い説明書／お願いラベル かんたん設定ガイド 	○	○	○	○	○
取付け説明書(本紙)	○	○	○	○	○
サムターンセット (取付けねじ4本付)	○	ー	○	ー	○
電動サムターンセット サムターン本体 2コ ツマミ 2コ カバー 2コ 金具 2コ ドア厚40mmの場合：皿小ねじM5×40 4本 ドア厚60mmの場合：皿小ねじM5×60 4本 	ー	○	ー	○	ー
通電金具(枠側) (取付けねじ 2本付)	○	○	○	○	○
マグネット	ー	○	○	○	ー
躯体内配線コード (10m)	○	○	○	○	○
内額縁配線カバー用 グロメット 1コ	ー	ー	ー	○	○※

※自動開閉仕様の場合2コ

			玄関ドアXE	ジエスタ2	グランデル2	リシェント玄関ドア3	
							XEモデル
選択品	ACアダプターセット または コントローラーユニットセット		○	○	○	○	○
	コントローラーユニット本体※						
	化粧プレート						
	プレート						
	端子カバー						
	JEM-A接続コード						
	オプションケーブル						
			ACアダプター／コントローラーユニット 選択によりいずれか同梱				

※通常仕様と人感センサ仕様の2種類があります。

オプション品	テンキー付屋外リーダー		躯体内配線コード(15、20m) 初期同梱の10mで足りない場合	
	ワイヤレス屋内ボタンセット		電動ドアクローザセット	
コントローラーユニットを使用して拡張できる機器	電気錠操作ボタン		シークレットスイッチ	
	JEM-Aアダプター		モニター親機	
	カメラ玄関子機		ワイヤレスモニター子機 （充電台付）	
	人感センサ	上枠納まり仕様 	軒天納まり仕様 	

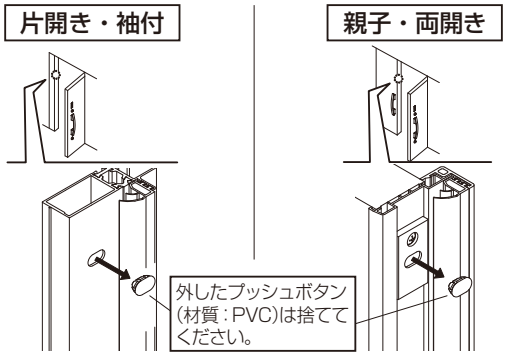
※商品の仕様によっては設定されていない部品もございます。

ドア枠への部品取付け

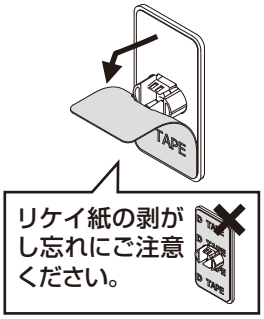
■マグネットの取付け

●電動サムターン仕様の場合

1プッシュボタンを外します。

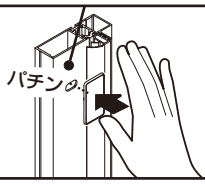


2マグネットのリケイ紙を剥がします。



3マグネットを張付けます。

マグネット張付け面が汚れている場合は掃除してください。汚れたまま張付けると外れることがあります。



マグネットを3秒以上強く押付け、圧着させてください。

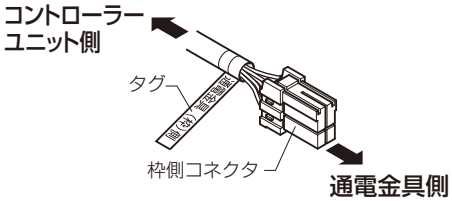
※一度張付けたマグネットは、取り外しても再利用できませんのでご注意ください。
※手動サムターンの場合、マグネットの取付けはありません。

■通電金具（枠側）の取付けと躯体内配線コードの接続

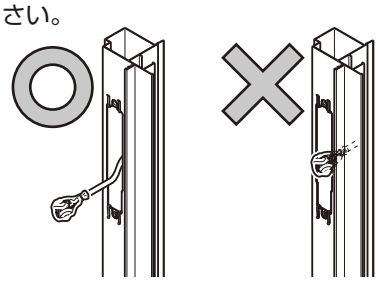
●電動ドライバーは使用しないでください。高トルクのため、部品が破損し不具合につながることがあります。
※1 躯体内配線コードは必ず組立て前に枠内に通してください。
※2 部品箱に躯体内配線コード（10m）が同梱されています。長さが足りない場合は、別途有償品の躯体内配線コード（15m、20m）を手配してください。初期同梱の10m配線からの継ぎ足し延長はできません。

お願い

❶躯体内配線コードは、コネクタ形状の違いにより、向きがあります。枠内に通す前に必ず、タグの表示内容とコネクタ形状を確認し、躯体内配線コードの向きがあっていることを確認してください。



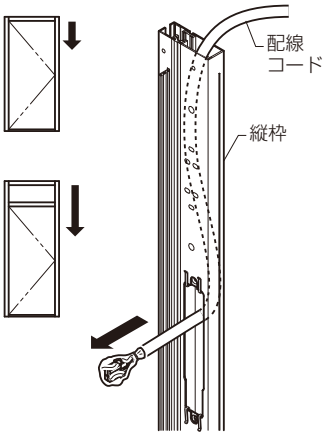
❷躯体内配線コードの枠側コネクタは切欠き穴から確実に引き出してください。



❸躯体内配線コードを通した後は、枠にキズをつけないようにテープなどでコネクタを固定してください。
❹躯体内配線コードのはさみ込みによる破損・断線などのないようにしてください。

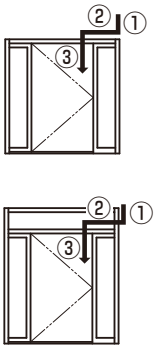
1リシェント玄関ドアの場合（その他の玄関ドアの場合は2を参照）
躯体内配線コードを吊元側縦枠に通してください。

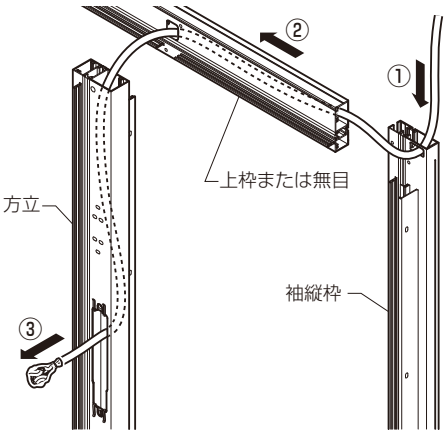
■片開き、親子、両開き、片袖の場合



■両袖の場合（枠の組立前に配線コードを通してください。）

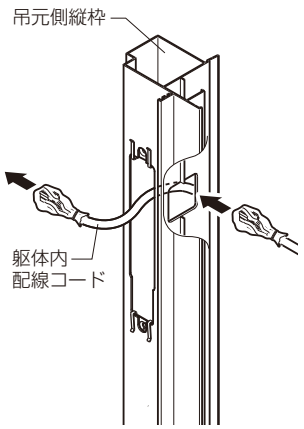
袖縦枠→上枠または無目→方立の順に通してください。



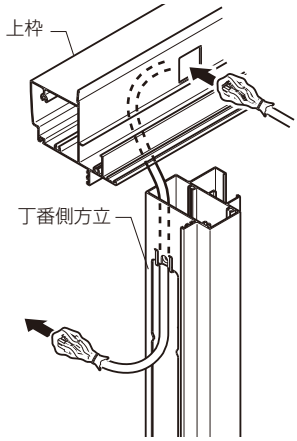


2その他の玄関ドアの場合
躯体内配線コードを枠内に通してください。

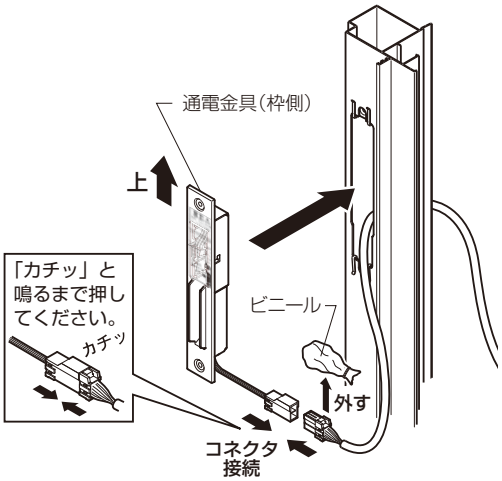
〈片開き・親子・両開き・片袖〉



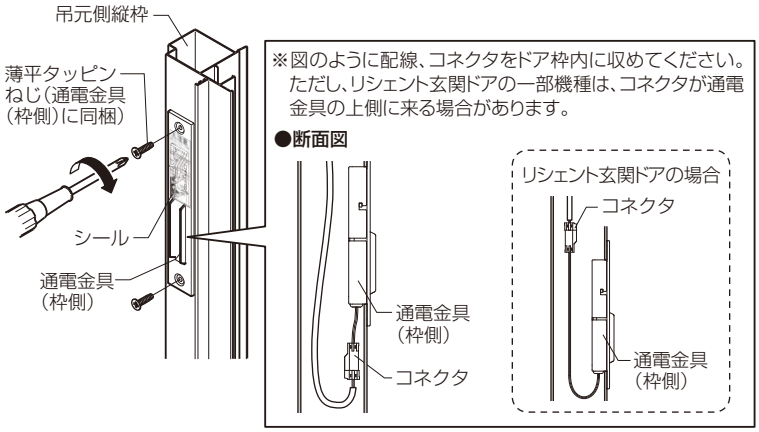
〈両袖〉



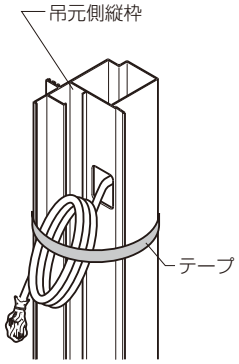
3コネクタを通電金具(枠側)に接続します。



4通電金具(枠側)を枠に取付けてください。



5躯体側の配線をテープなどでまとめます。



お願い

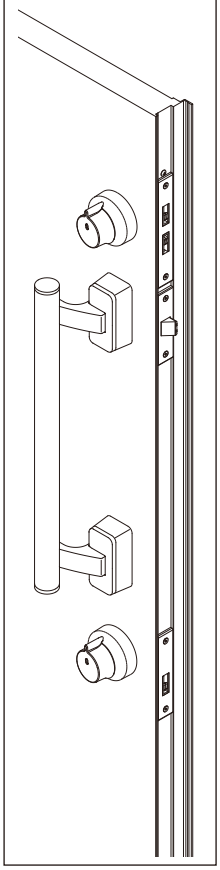
※ドア枠内の配線コードにはテンションがかからないようにしてください。接触不良により不具合の原因になったりメンテナンス時に部品の交換ができなくなります。通電金具（枠側）のシールはコネクタ接続時まで剥がさないでください。

ドア本体への部品取付け

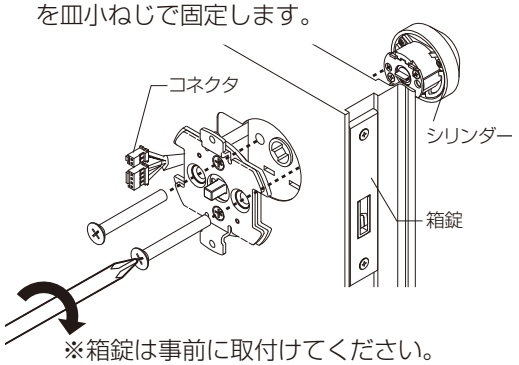
■電動サムターンの取付け

●サムターンは２個とも同じ部品で取付け方法も同じです。
●電動ドライバーは使用しないでください。高トルクのため、部品が破損し不具合につながることがあります。
※ねじの締付けトルク（推奨）：1.2N·m {12kgf·cm}

完成図

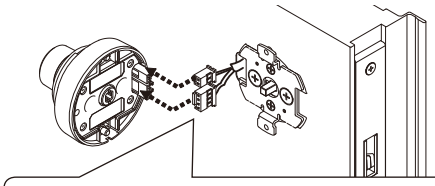


1 コネクタを引出してからシリンダーと金具を皿小ねじで固定します。

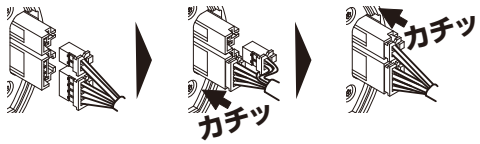


※箱錠は事前に取付けてください。
※ハーネスのはさみ込みにご注意ください。

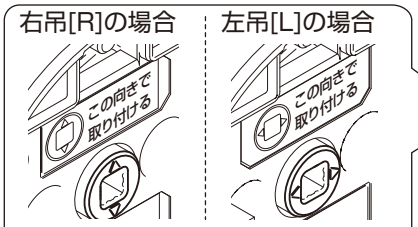
2 コネクタを接続します。



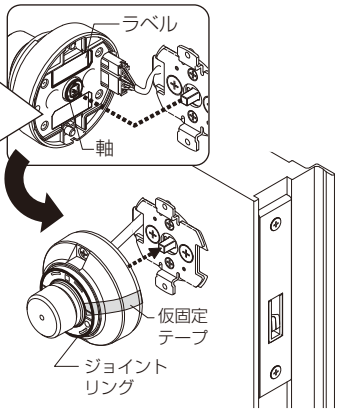
「カチッ」と鳴るまで挿してください。



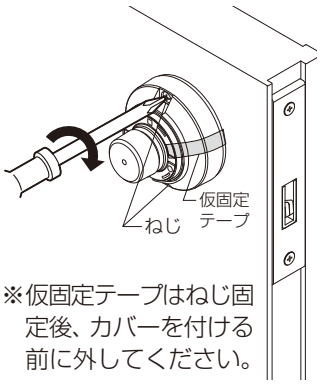
3 サムターン本体を金具にはめ込みます。（解錠状態で取付けること）



サムターンの軸をラベルの向きに合わせてください。間違えるとサムターンが回りません。
合わせた後はジョイントリングを動かさないでください。軸の向きが連動して変わります。

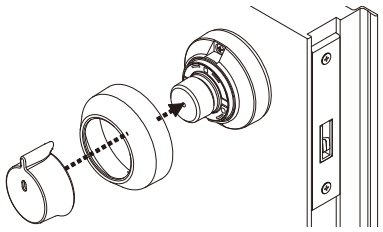


4 サムターン本体をねじで固定します。



※仮固定テープはねじ固定後、カバーを付ける前に外してください。

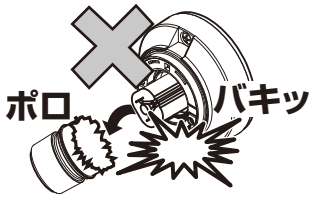
5 カバーをはめてからツマミを付けます。

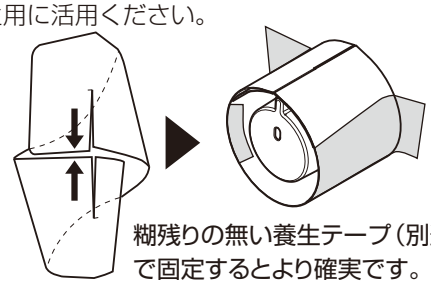


●ツマミの外し方
ボタンを押しながら引張ります。

取扱い上のお願い事項

本製品は精密機器です。構成部品に衝撃や強い力を加えないでください。破損の原因になります。
破損防止のため、養生カバー（サムターンセットに同梱）を組立ててサムターンにかぶせ、施工中の養生用に活用ください。



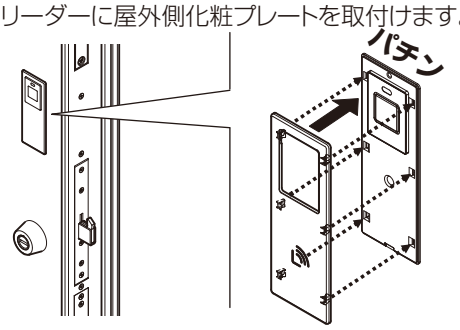


糊残りの無い養生テープ（別途）で固定するとより確実です。

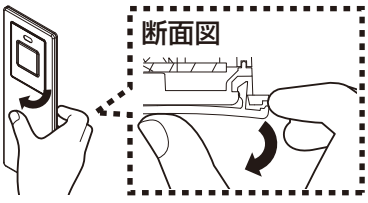
※手動サムターンセットの取付けは、ハンドルセットに同梱の取付け説明書を参照ください。

■屋外側化粧プレートの取付け

●リーダーに屋外側化粧プレートを取付けます。（※S型ハンドル、テンキー付屋外リーダーの場合、この作業は不要です。）



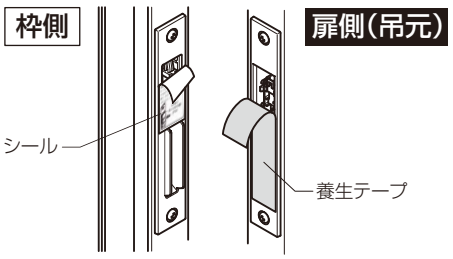
■メンテナンス時の対応
[化粧プレートの外し方]
図のように中央を押しながら横から外してください。別の外し方をするとプレートが破損することがあります。



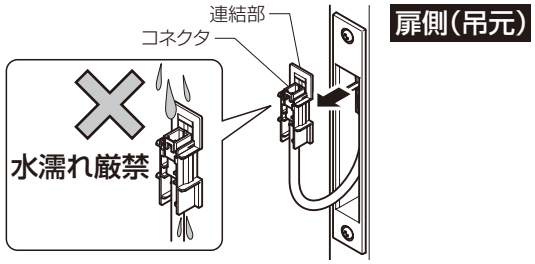
■通電金具の接続

この作業は、扉を吊った後、扉を開けた状態で行ってください。作業が終わるまでは扉を閉めないでください。また吊元側の作業ですので、扉が閉まり指を挟まれないよう十分ご注意ください。

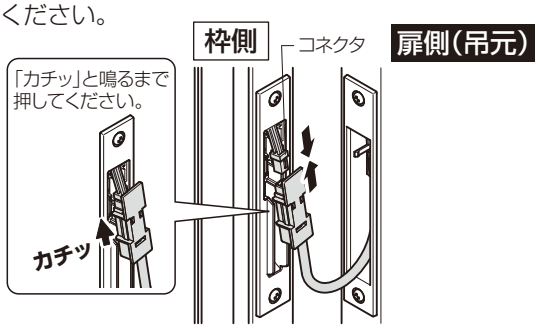
①枠側のシールと扉側の養生テープを剥がします。



②扉側からコネクタ(連結部)を取り出します。

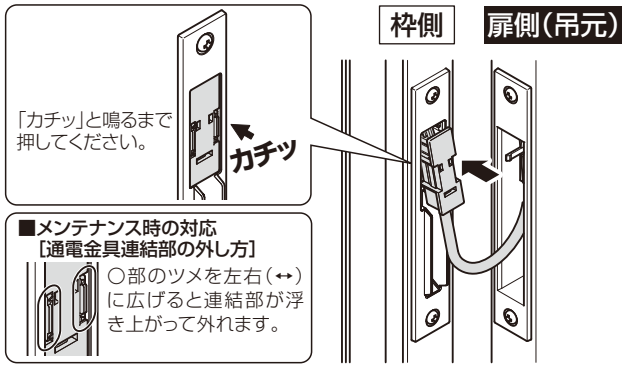


③扉側から取り出したコネクタを枠側のコネクタに接続してください。



※コネクタが濡れたまま接続しないでください。接触不良の原因になります。

④連結部を枠側の通電金具にはめ込みます。



■建付け調整

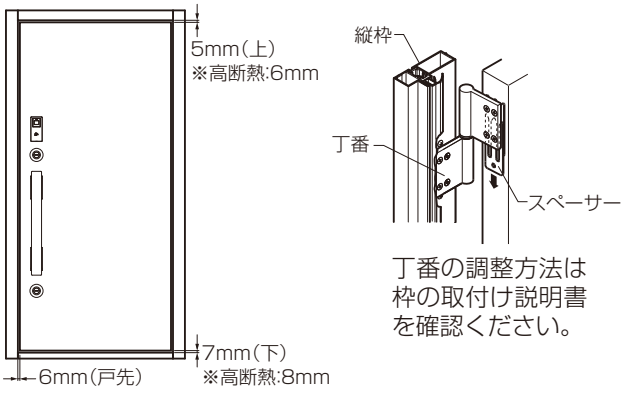
※枠とドア本体の調整方法は枠取付け説明書を参照してください。

■ 建付けの確認と調整

1枠とドア本体の建付け確認

●上下、戸先側のチリ寸法と気密材とドアの当たりが均等に当たるように確認、調整してください。

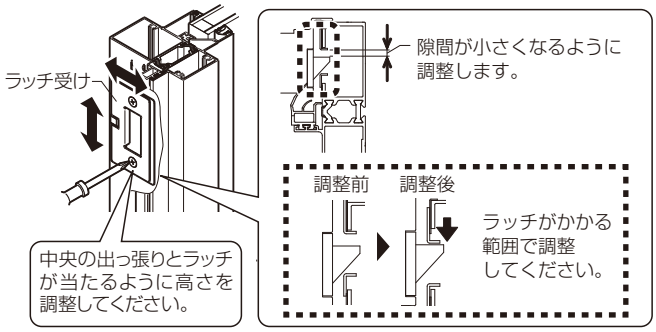
■チリ寸法



丁番の調整方法は枠の取付け説明書を確認ください。

2ラッチの確認と調整

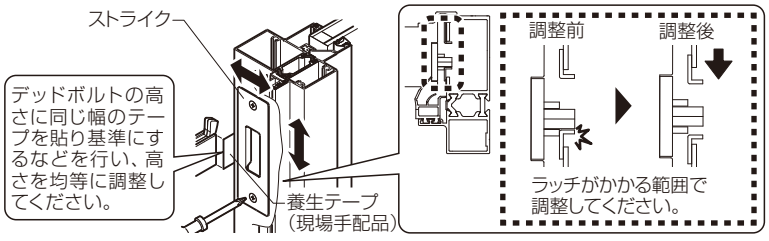
●ラッチ調整の前にドアクローザーの速度を適切に調整してドアが最後まで閉まるようにしてください。うまく閉まらない場合は、丁番もしくは子扉のフランス落としの調整を行ってください。そしてラッチがかからない場合、もしくはラッチがかかってもガタつきが大きい場合は、ラッチ受けの位置を調整してください。



3ストライクの確認

●ラッチがかかった状態でドアを押し引きしながらサムターンを回し、カギがスムーズにかかるかを確認してください。カギがスムーズにかからない場合は、ストライクの位置を調整してください。

【確認方法】



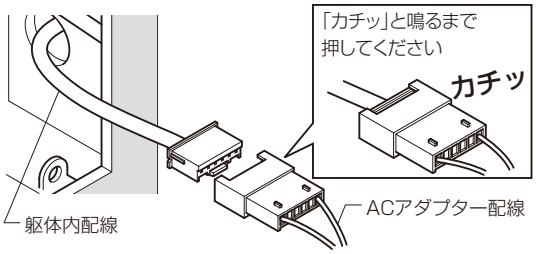
機器の取付け、配線工事

機器の取付け、配線工事をするには電気工事士の資格が必要です。躯体内配線コードの設置とACアダプターをコンセントへ挿し込む作業のみの場合は電気工事士の資格は不要です。

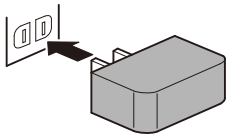
■ACアダプターの取付け（ACアダプター式の場合）

※コントローラーユニット式の場合、AC アダプターは付属しません。次頁以降を参照してください。
※電気錠の作動にはコントローラーユニットまたは AC アダプター（付属品）が必須です。
　AC アダプターはお手入れの必要性から下記の設置例の方法を参考に設置してください。

●スイッチボックスより躯体内配線のコネクタを引出しACアダプターのコネクタと接続してください。

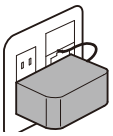


●ACアダプターを100Vのコンセントにしっかり奥まで差し込んでください。

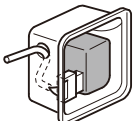


【設置例】

外付けタイプ 推奨（別売品）
・埋込扉付ダブルコンセント[WTF13523WK]
・埋込通線カバー（取付枠付）[WT9171W]
・スイッチ＋コンセントプレート[WTC7112W]
・スイッチボックス標準型 2コ用 セパレータ付 [DM80202]



点検口納めタイプ 推奨（別売品）
・簡易耐火カバープレート（2連用）[WTC7792W]
・2コ用 スイッチボックス（カバー付）[DS4912]
※金属製
・埋込抜け止コンセント（シングル）[WN1061SW]



お願い
※ AC アダプターをコンセントから抜いた際に断線しないよう配線に余裕を持たせ設置してください。
※スイッチボックス内に納める場合は必ず点検口を設けてください。露出して設置する場合は、お子さまの手の届かない所へ設置してください。（お手入れできる場所への設置が必要です）
※ご使用される方に電気錠の AC アダプターであることを説明しホコリによるトラッキング防止のため、定期的なお手入れをお願いしてください。

■コントローラーユニットの取付け（コントーラーユニット式の場合）

※コントローラーの取付けは、『(P.1)機器の設置で注意していただきたいこと』を守って以下の通り、設置してください。

1 ボックス取付けの場合

●プレート、化粧プレートをコントローラーユニットから一旦外し、『■配線工事方法』と下の図を参考に取付けを行ってください。

※ねじの締付けトルク（推奨）：0.6N·m {6kgf·cm}

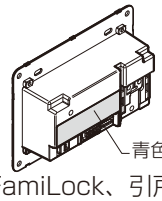
お願い

※コントローラーユニットは商品ごとに品番が異なります。組合わせを間違えて接続すると部品の故障につながりますのでご注意ください。

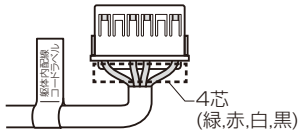
正しい接続のポイント

①両部品のラベルの電圧表記が「7.2V」になっていること

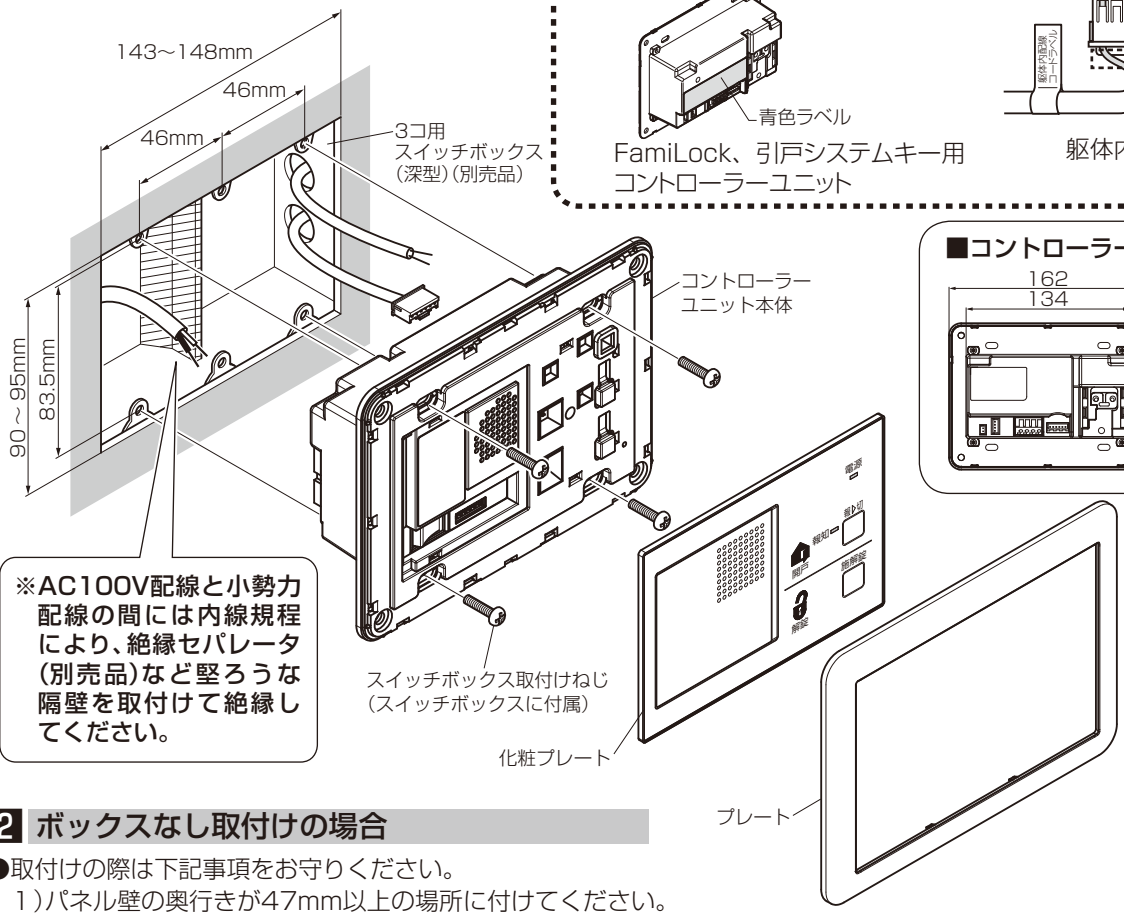
②ラベルに電圧表記が無い場合コントローラーユニットのラベルが青色で配線が４芯であること



FamiLock、引戸システムキー用コントローラーユニット

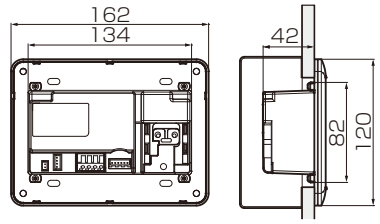


躯体内配線コード



※AC100V配線と小勢力配線の間には内線規程により、絶縁セパレータ(別売品)など堅ろうな隔壁を取付けて絶縁してください。

■コントローラーユニット詳細寸法



2 ボックスなし取付けの場合

●取付けの際は下記事項をお守りください。

1)パネル壁の奥行きが47mm以上の場所に付けてください。

2)AC100V配線と小勢力配線が接触しないように取付けてください。

3)壁に埋込む商品ですので、商品埋込み深さおよび配線スペースに注意してください。

4)端子カバーを取付けてください(詳細は下記「端子カバーについて」を参照ください。)

5)下記、はさみ金具(別売品)を使用してください。

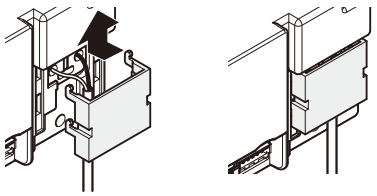
端子カバーについて

AC100V端子にグラスウールなどが接触するときは、内線規定により、端子カバーを取付けてください。

■端子カバーの付け方

ツメをミゾ(4ヵ所)に差込み、上へあげます。

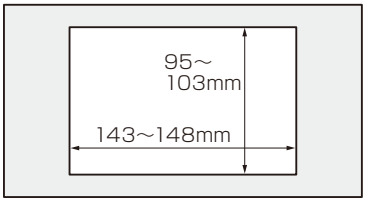
(外すときは、逆の手順になります。)



■適用はさみ金具(別売品)

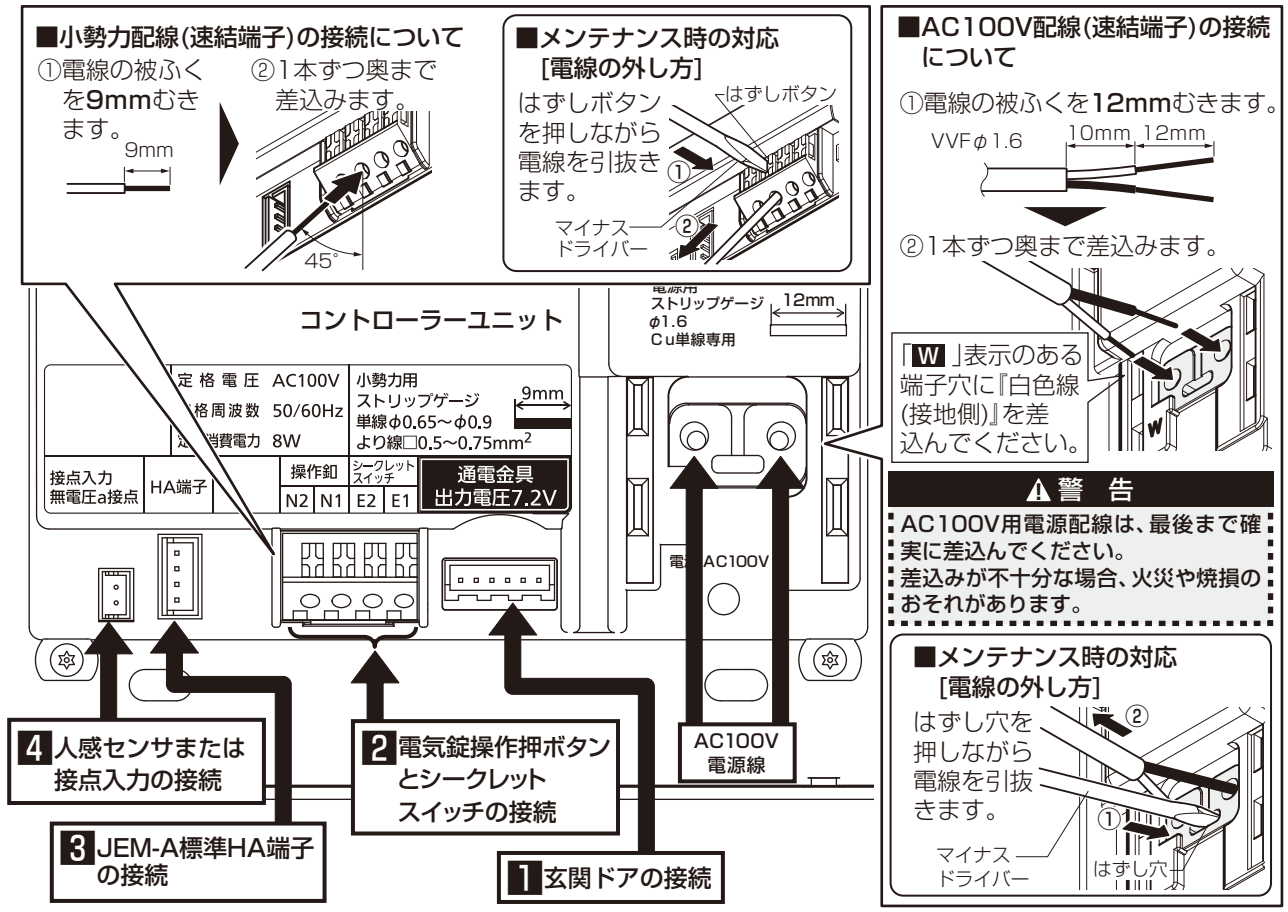
対象壁	パナソニック㈱製 はさみ金具品番
9～30mm厚の石膏ボードまたは合板	WN3998

■壁の穴あけ寸法



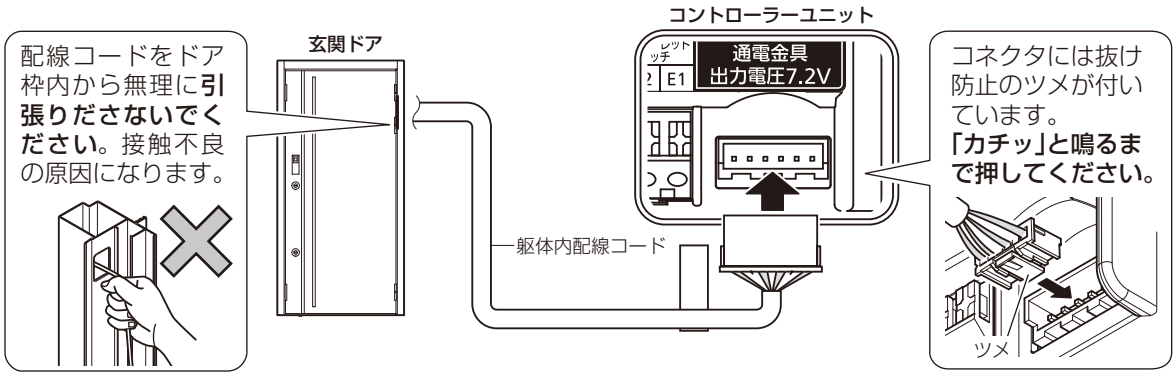
その他オプション品の取付けは、各機器に付属されている説明書に添って作業を行ってください。

■配線工事・接続方法

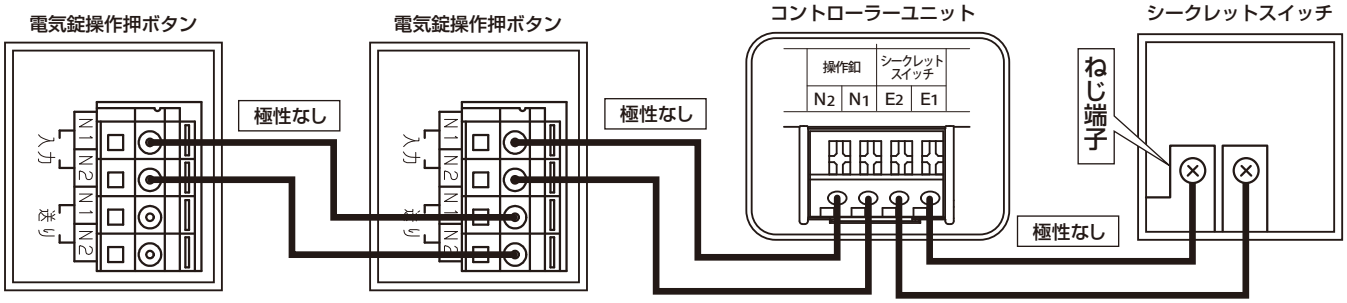


1 玄関ドアの接続

●躯体内配線コード(10m)が届く範囲にコントローラーユニットを設置してください。
※オプションの躯体内配線と交換で最大20mまで延長可能。継ぎ足しによる延長はできません。



2 電気錠操作押ボタンとシークレットスイッチ（オプション品）の接続

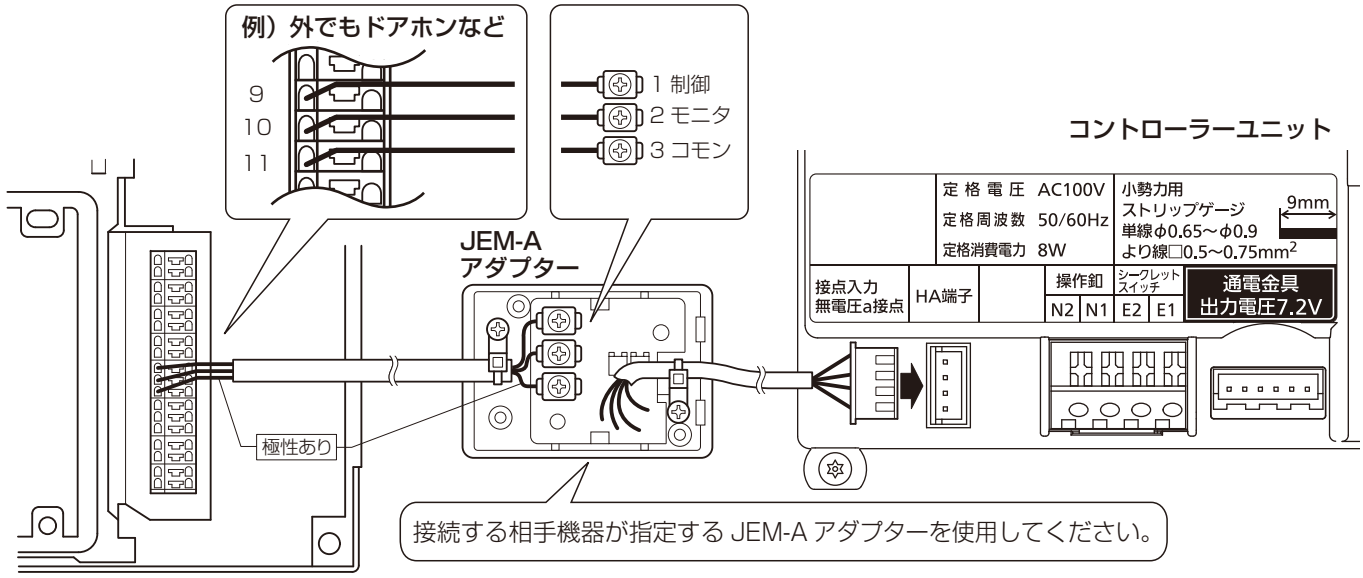


操作押ボタンは８台まで接続可能。

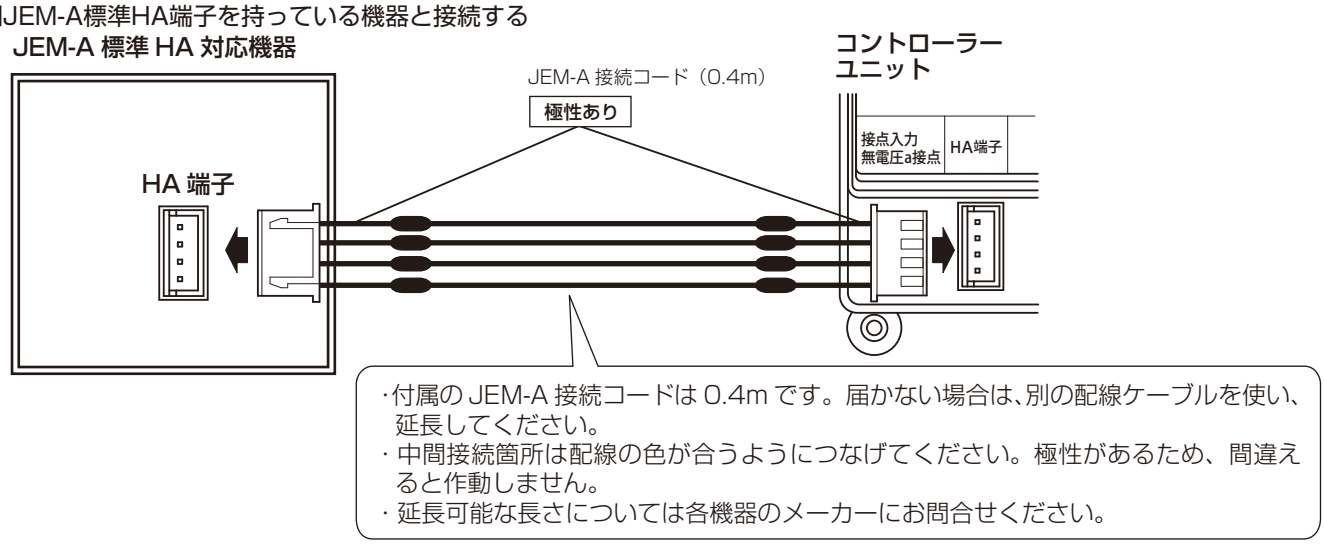
それぞれの配線ケーブルの合計が 50m 以内になるように設置ください。

3 JEM-A 標準 HA 端子の接続

■JEM-Aアダプターを使用する機器と接続する場合



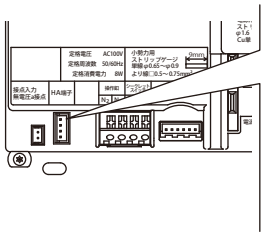
■JEM-A標準HA端子を持っている機器と接続する



■JEM-A標準HA端子について

コントローラーユニットはHA端子を装備しておりJEM-A 標準 HA 対応で電気錠と接続できると記載がある機器と接続することが可能です。また、その機器から解錠／施錠の遠隔操作を行うことができます。

コントローラーユニットのHA端子について



記号	信号の内容
M2	モニタ信号(−)
M1	モニタ信号
C2	制御信号(−)
C1	制御信号

●モニタ信号
・施錠時 M1端子がHigh(M1-M2端子間に15V/6mA)
・解錠時 M1端子がLow(M1-M2端子間に0V)

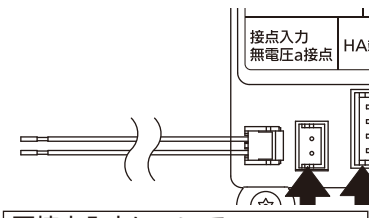
●制御信号
・C1-C2端子間に0.2～0.3秒の無電圧a接点入力(短絡)で電気錠が反転動作

※反転動作とは施錠中は解錠、解錠中は施錠する動きのことです。

4 人感センサまたは接点入力接続

付属のオプションケーブルを使用することで他機器との連携ができます。
①人感センサ(オプション品)と接続することでタッチボタンを押さずに解錠が可能になります。
②無電圧a接点に対応する他社機器と接続することで接続機器側から電気錠の施解錠操作ができます。(それぞれの設定の仕方はP.19のコントローラーユニットのスイッチ設定の「センサーモード切替」を参照ください。)

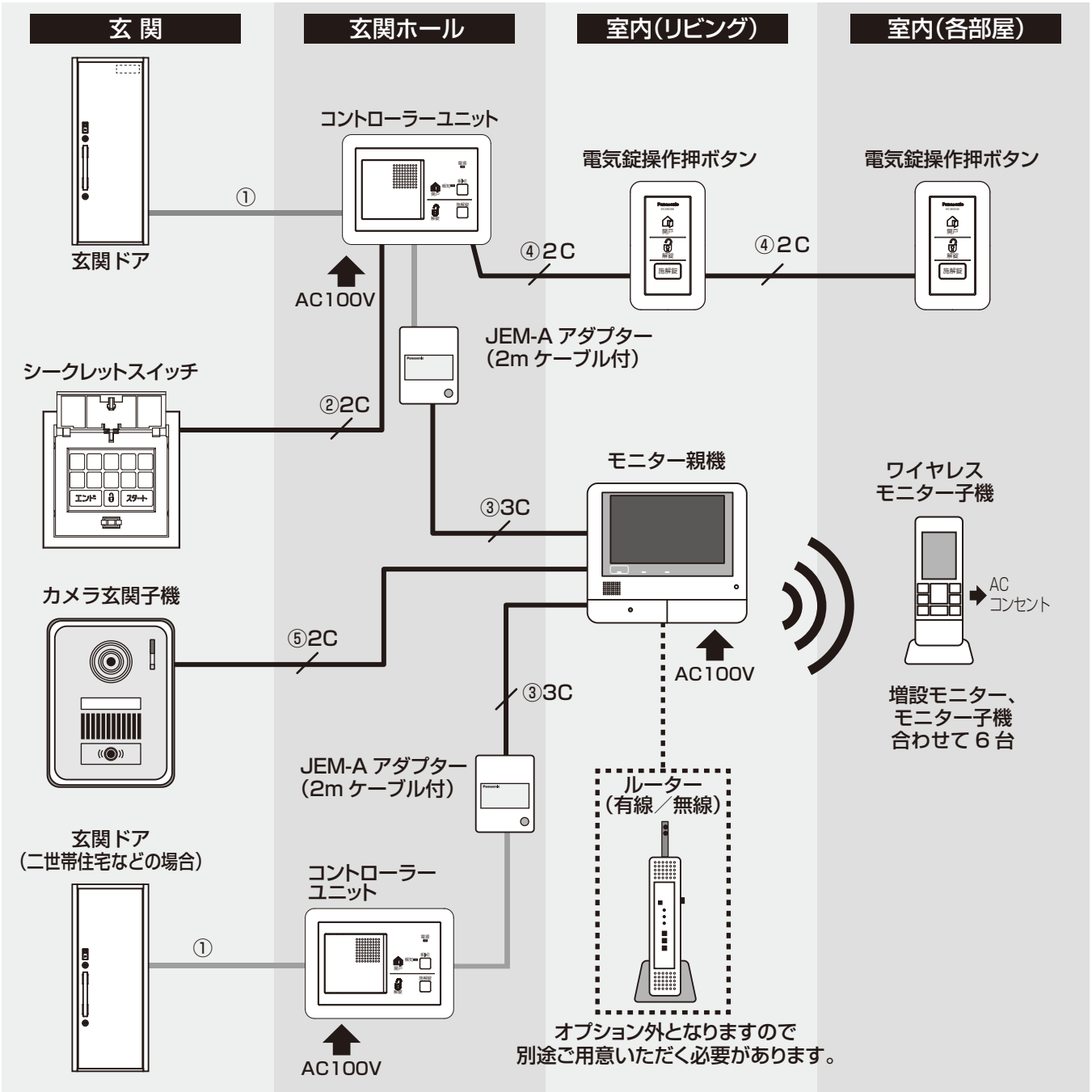
※人感センサは専用品をご使用ください。オプションケーブルより先の取付方法については「人感センサ取付説明書」を参考に作業を行ってください。
※専用品以外の接続する機器側の作動を保証するものではありません。
接続可否については、機器側のメーカーへお問い合わせください。
※使用しない場合、オプションケーブルは接続しないでください。



■接点入力について
0.1秒以上の無電圧a接点入力(短絡)で作動します。[定格DC15V 0.1A]

■パナソニック製 外でもドアホン使用時の接続について

1 接続例



●〔——〕の配線コードは、付属品です。
●〔━━〕の配線コードは、現場手配品です。AE線などの平行ポリエチレン絶縁ビニール被ふくケーブルを手配し、下記「接続可能距離」を参考に施工してください。

※コントローラーユニットには掲載品以外のJEM-A接続に対応しているドアホンを接続して使用できます。
※コントローラーユニット式の場合の配線図です。ACアダプター式はドアホンとの連携はできません。

【同梱品】躯体内配線コード

項	接続先	配線長
①	コントローラーユニット～玄関ドア	10m (別途手配品 15·20m ※1)
②	配線 BOX ～ AC アダプター	1.3m

※1）初期同梱の10mでは足りない場合は、別途15・20mを手配ください。

【現場手配品】

項	接続先	単芯線 (φ0.65～φ0.9)の接続可能距離(※2)
③	JEM-A アダプター～モニター親機 ※3	50m
④	コントローラーユニット～電気錠操作押ボタン ※3	
⑤	コントローラーユニット～シークレットスイッチ	50m
⑥	モニター親機～玄関子機 ※3	100m

※2）接続できる単芯線の最大長さです。
上記の範囲内での手配をお願いいたします。
※3）単芯線（φ0.2以上を使用すること）

2 取付け用現場手配部品一覧

商品名	取付け用部材（※1）
コントローラーユニット	JIS 3コ用スイッチボックス（深型）（※2）（※3） パナソニック（株）製 押さえ金具3連〔品番:WN3998〕（※2）
電気錠操作押ボタン	JIS 1コ用スイッチボックス はさみ金具 押さえ金具（1連用）
取付プレート（操作押ボタン用）	
シークレットスイッチ	JIS 2コ用スイッチボックス（カバー付）
取付プレート（シークレットスイッチ用）	
モニター親機	JIS 1コ用スイッチボックス(※3)(※4)
カメラ玄関子機	JIS 1コ用スイッチボックス(※4)

※配線ケーブルは、「システム配線図」も参考に手配してください。なお、複数の機器間の配線ケーブルを同一シースで配線することはできません。

※1）各機器の取付けには、上記取付け用部材の内、いずれか1つが必要になります。はさみ金具、押さえ　金具に品番が記載されている場合は、記載されている品番以外のものは使用できません。取付け　用部材は取付ける壁仕様により異なりますので、詳しくは各機器の施工説明書をご確認ください。　（木壁の場合、取付け用部材を使用しなくとも直付け可能な機器もあります。）

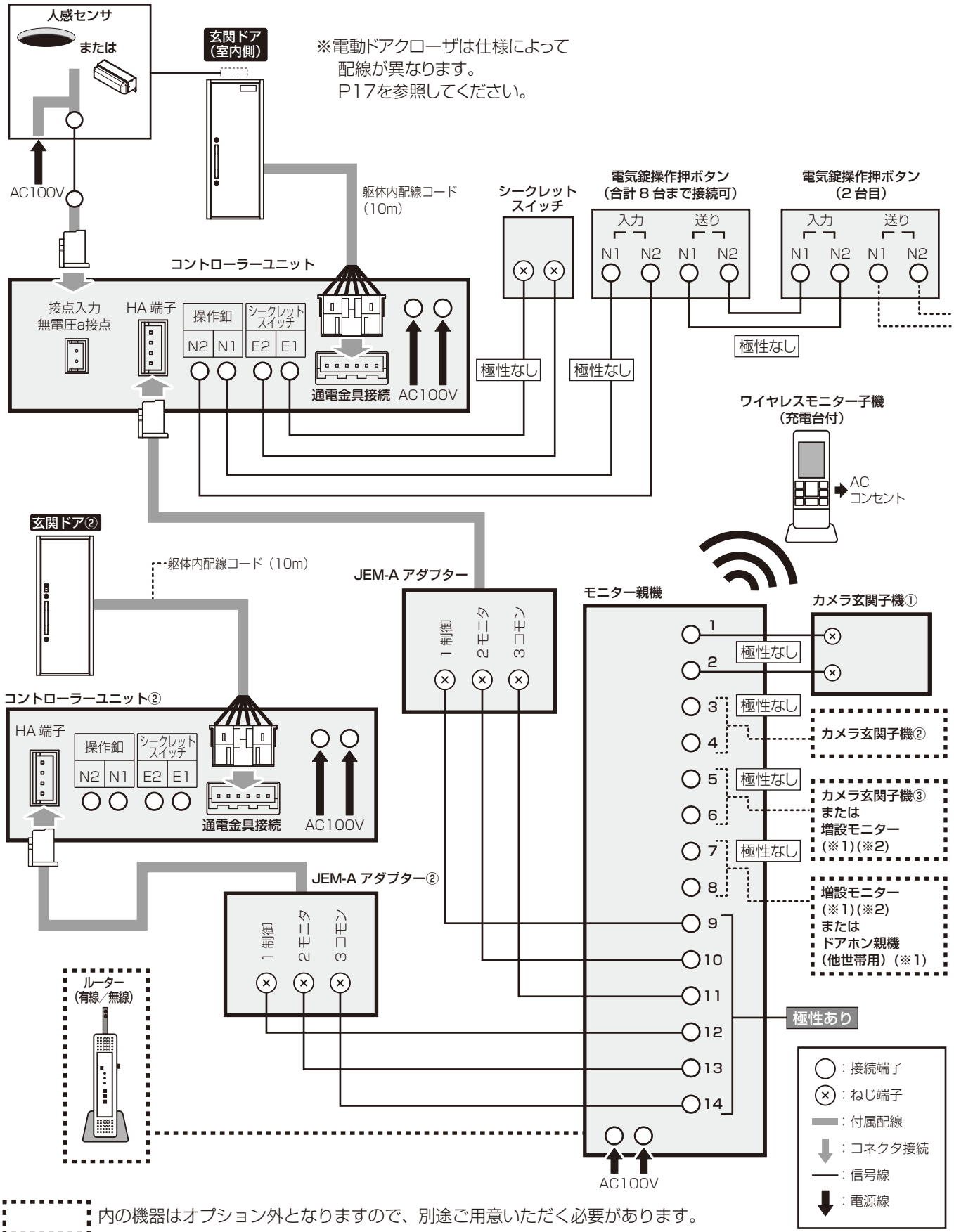
※2）取付けの壁面より、奥行きは47mm以上必要になります。

※3）スイッチボックスを使用する場合は、内線規程により、ボックス用絶縁セパレータをご使用ください。

※4）木壁の場合、取付け用部材を使用せず付属の取付ねじで直付け可能です。

※外でもドアホンの施工や追加機器については、外でもドアホン同梱の取扱説明書・施工説明書をご確認ください。併せてパナソニック社のホームページを参照ください。（右記2次元コード参照）

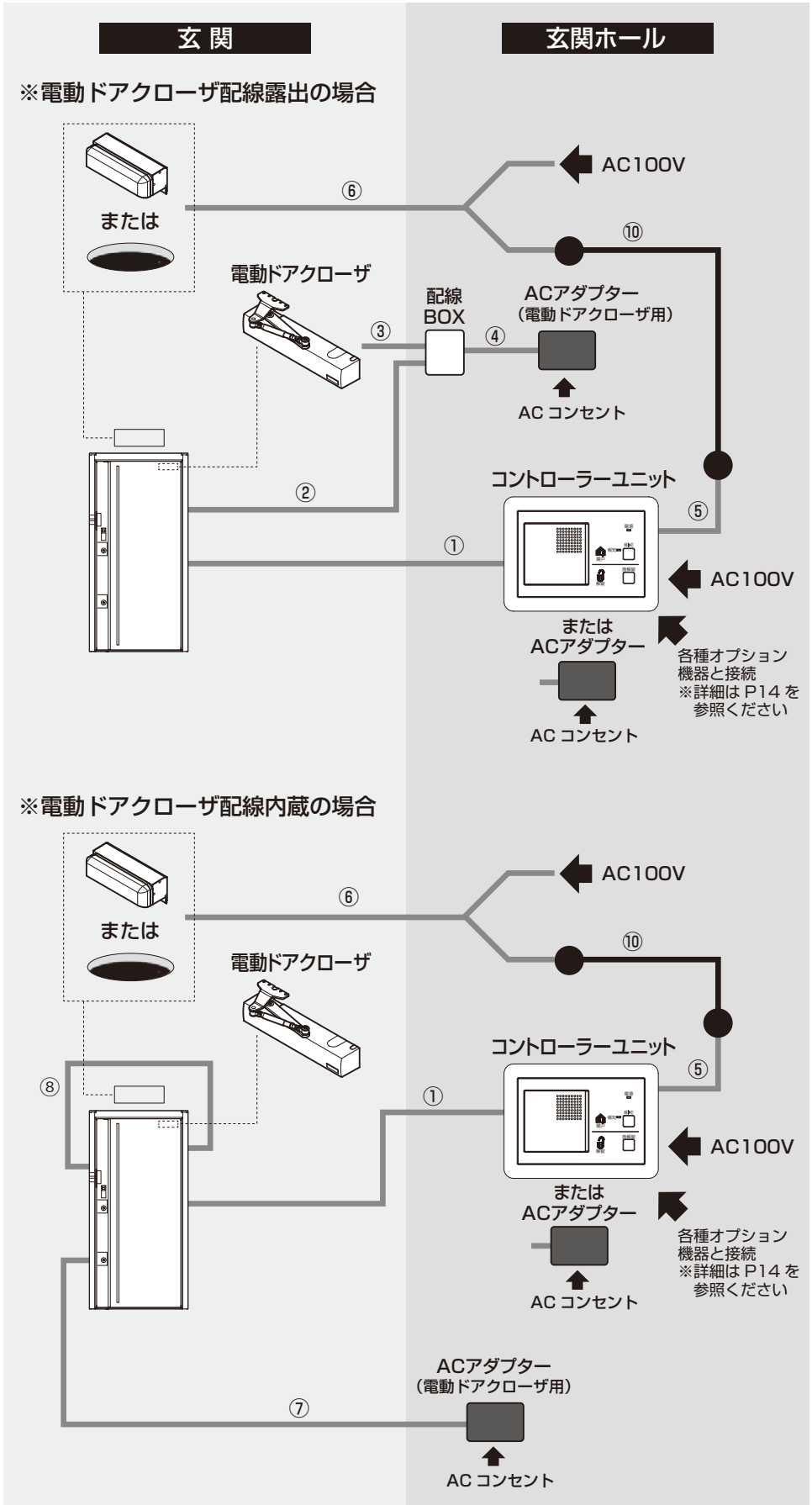
■システム配線図（オプション品）



内の機器はオプション外となりますので、別途ご用意いただく必要があります。

※1) カメラ玄関子機を３台接続した場合、増設モニターとドアホン親機（他世帯用）はどちらか一方しか接続できません。
※2) 増設モニターは１台まで、ワイヤレスモニター子機と合わせ６台までとなります。
詳しくは「外でもドアホン取扱説明書・施工説明書」を確認ください。

■玄関ドア XE オプション接続例



●〔——〕の配線コードは、付属品です。
●〔━━〕の配線コードは、現場手配品です。AE線などの平行ポリエチレン絶縁ビニール被ふくケーブルを手配し、下記「接続可能距離」を参考に施工してください。

※コントローラーユニットには掲載品以外のJEM-A接続に対応しているドアホンを接続して使用できます。
※コントローラーユニット式の場合の配線図です。ACアダプター式はドアホンとの連携はできません。

【同梱品】躯体内配線コード

項	接続先	配線長
①	コントローラユニット(ACアダプタ)～玄関ドア	10m (別途手配品 15･20m ※1)
②	配線 BOX ～ 玄関ドア	5.0m
③	配線 BOX ～ 電動ドアクローザ	0.2m
④	配線 BOX ～ AC アダプター	1.3m
⑤	コントローラーユニット オプションケーブル	0.6m
⑥	人感センサ～現場手配ケーブル（コントローラーユニット接続用）	上枠用:2.0m 軒天用:3.0m
⑦	玄関ドア～ AC アダプター (電動ドアクローザ用)	6.0m ※3
⑧	躯体内配線コード 親扉～子扉	5.0m ※3

※1）初期同梱の10mでは足りない場合は、別途15・20mを手配ください。

【現場手配品】

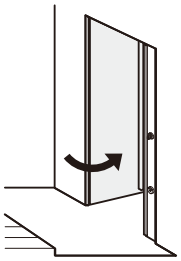
項	接続先	単芯線 (φ0.65~φ0.9)の接続可能距離(※2)
⑩	人感センサ～オプションケーブル	50m

※2）接続できる単芯線の最大長さです。上記の範囲内での手配をお願いいたします。

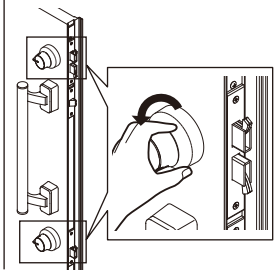
作動確認

■ AC アダプター式の作動確認

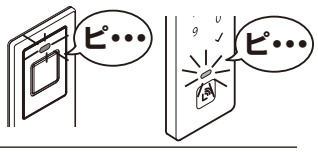
1 ドアを開けます。



2 上下のサムターンを順番に手動で施錠します。



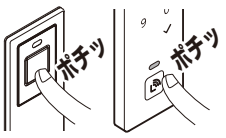
状態	結果
「ピ音」が5回鳴り LEDが橙色に点滅する	**正常です。** 引渡し時までACアダプターを抜いておいてください。
何も起こらない	**異常です。** 下記の手順で点検を行いメンテナンスしてください。



■点検手順

上記の作動確認で「異常」になった場合のみ実施してください。

●ドアを開けた状態でリーダーのボタンを押す。

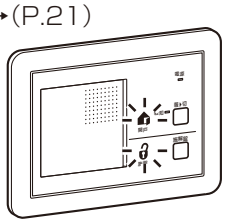


状態	結果
「ピ音」が5回鳴り LEDが橙色に点滅する	箱錠とのコネクタ接続ができていない
何も起こらない	・AC100Vが来ていない ・配線が接続されていない

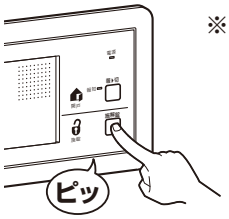
■コントローラーユニット式の作動確認

1 コントローラーユニットの電源を入れます。

2 開戸表示と解錠表示が正しく点灯、消灯するか確認します。
→(P.21)



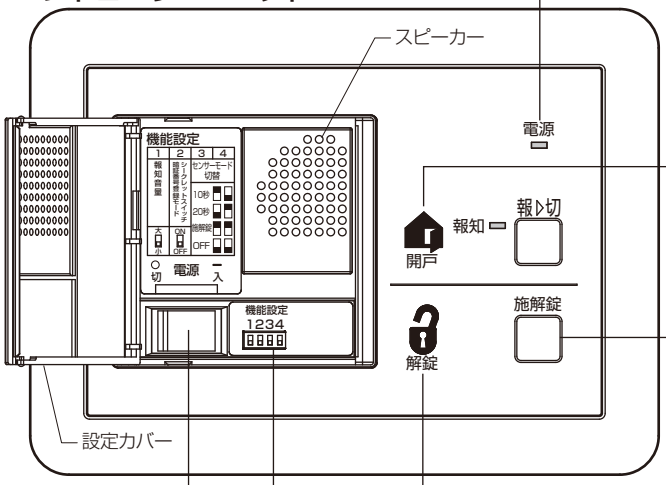
3 ドアを閉め施解錠ボタンを押し、施解錠できるか確認します。



※入荷時のコントローラーは未登録状態となっており施解錠操作できません。登録するには解錠状態で5分放置、または施解錠ボタンを押してください。

※エラー音、エラー表示が点く場合は、P.21を参考に対処してください。

コントローラーユニット

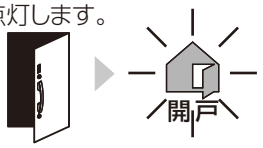


電源表示

電源が入っている時に緑色で点灯します。

開戸表示

ドアが開いている時に赤色で点灯します。



施解錠ボタン

ドアが閉まっているときのみ錠の操作ができます。

重要なお願い

点検終了時は必ず手動でサムターンを回し解錠してください。
施解錠ボタンによる解錠後、電源の入り切りをすると意図せず自動施錠する場合があり、閉め出されるおそれがあります。特にカードやリモコン登録後は自動で施錠する機能が作動開始するためご注意ください。

電源スイッチ

電源の入り、切りができます。

報知音量(スイッチ1)

報知音（ポロロン）の音量を大きくできます。

■報知音量の調整

1	1
音量 小	音量 大

シークレットスイッチ 暗証番号登録モード(スイッチ2)

シークレットスイッチ暗証番号登録モードの電源の入り切りができます。

■報知音量の調整

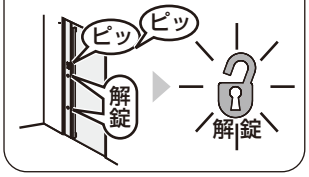
2	2
電源 切	電源 入

センサーモード切替(スイッチ3、4)

人感センサ使用時に切替えます。
→P.19

解錠表示

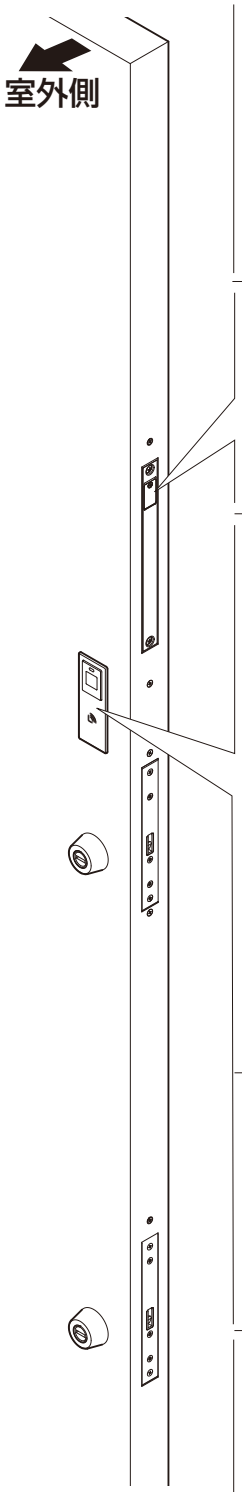
錠が上下2つとも解錠している時に赤色で点灯します。



※防犯のため、お施主さま引渡し後、速やかにシークレットスイッチの暗証番号を登録してください。

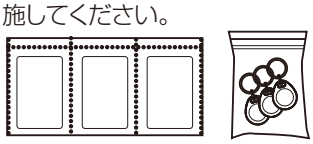
その他オプション品の設定、作動確認方法は、各機器に付属されている説明書に添って行ってください。
確認後、引渡し時まで電源スイッチをOFFにしてください。

■カードキー・タグキー・リモコンを使った作動確認



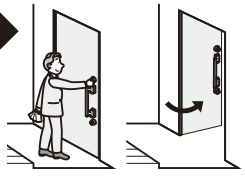
1同梱のカードキー3枚またはタグキー3個は未登録です。(以下、「タグキー」は省略)

●カードキー・タグキーの場合
作動確認を行う際はクリアケースに入れたまま登録を実施してください。

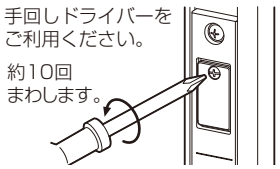


●リモコンの場合
リモコンのボタンを押してランプが点灯する(電源が ON になっている)事を確認します。
※OFFの場合は、リモコンの電源をONにしてください。出荷時は電源がOFFになっております。

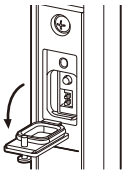
解錠し、ドアを開けます。
※登録終了まで開けたままにしてください。



2フタのねじをゆるめます。



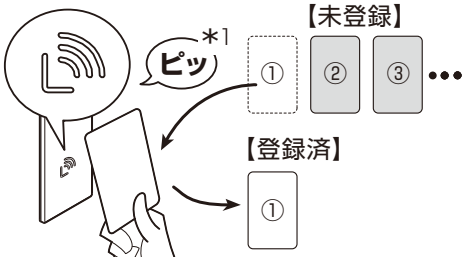
フタを外します。



登録ボタンを1秒押し、離すと『ピー』音が鳴り、LEDが点滅し、登録モードに入ります。

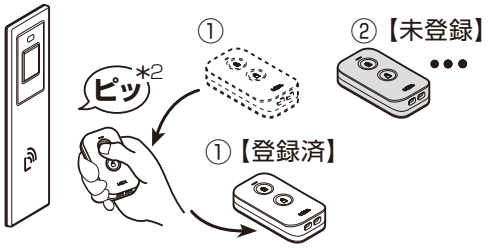
3カードキーとリモコンを登録します。(続けて登録可能です。)

●カードキーの場合
1枚ずつカードキーを(( ))マークにかざし登録します。



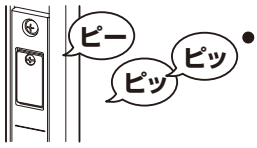
*1)登録の都度、登録済み枚数分だけ『ピッ音』が鳴ります。(例:1枚目『ピッ』、2枚目『ピッ、ピッ』)
※最大登録枚数は10枚です。
※S型ハンドルの場合、(( ))マークはハンドルに付いています。

●リモコンの場合
1個ずつリモコンのボタンを押し、登録します。



*2)登録の都度、登録済み個数分だけ『ピッ音』が鳴ります。(例:1個目『ピッ』、2個目『ピッ、ピッ』)
※最大登録個数はスマートフォンと合わせて10個です。
※1つのリモコンに最大10台のドアを登録できます。11台目のドアを登録すると、リモコンからは1台目のドアの登録情報が自動的に削除されます。

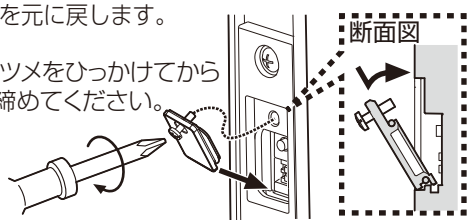
4約30秒待つと登録モードが終了し『ピー』音の後、登録枚数分『ピッ』音が鳴ります。*3



*3)登録済みのスマートフォンを含めた、カードキーとリモコンの合計登録個数分鳴ります。

5フタを元に戻します。

下部のツメをひっかけてからねじを締めてください。



6外に出てカードキー、リモコンを使って施解錠の確認を行ってください。

●カードキーの場合
タッチボタンを押し、カードキーを「(( ))」マークにかざします。

●リモコンの場合

2つのカギが施解錠することを確認します。

※エラー音、エラー表示が点く場合は、P.20を参考に対処してください。

お願い
※電気錠操作では上下2ロックになりますが工事用キーで操作できるのは上シリンダーのみになりますので、別の出入り口を確保するか室内に人が居る状態で確認を行ってください。閉め出しのおそれがあります。
※工事中は連動施錠機能をONにしないでください。下の錠が施錠されると工事用キーで解錠できなくなります。

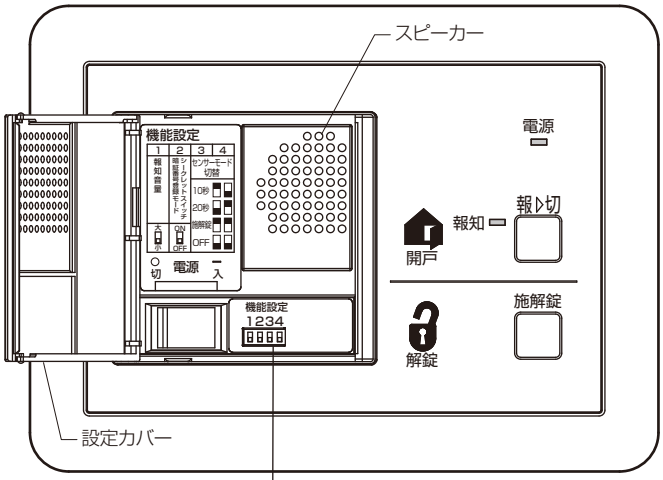
■人感センサ連動モードの作動確認（オプション品）

1センサーモードを人感センサモードに設定します。

お願い

※人感センサを接続した状態で施解錠モードにすると、人感センサ反応後に鍵を持っていなくても施解錠します。人感センサを接続して使用する際は必ず人感センサモードにしてご使用ください。

コントローラーユニット



センサーモード切替（スイッチ3、4）※1

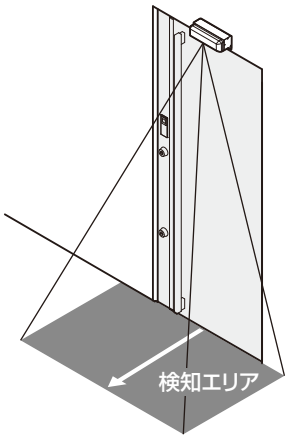
人感センサまたは接点の入力連携の切替ができます。

	3	4	
10秒	■	□	人感センサモード セキュリティ時間設定※2 10秒or20秒
20秒	□	■	
施解錠	■	■	施解錠モード
OFF	□	□	センサーモード OFF

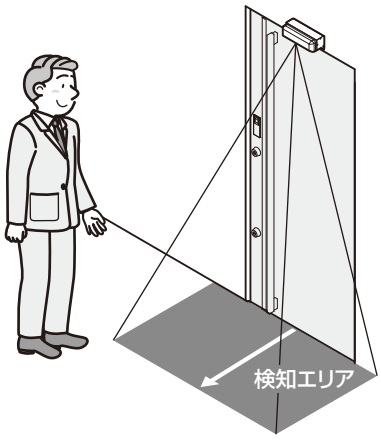
※1 表記がなく、「未使用」と記載のものは対応していません。施解錠モードになります。

※2 防犯の観点上、施錠後に人感センサと電気錠が連動しない時間

2人感センサの検知エリアが適切かご確認してください。（検知範囲距離、調整は人感センサ同梱の説明書をご確認ください。）



3外に出て施錠後、設定したセキュリティ時間が経つのを待ちます。



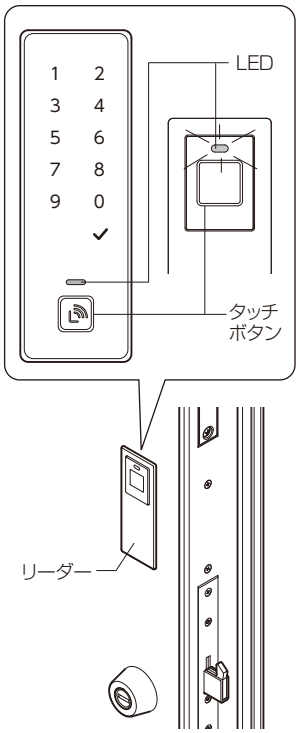
4検知エリアに入り屋外リーダーから「ピッ音」がなるか確認を行ってください。

お願い

※電気錠操作では上下２ロックになりますが工事用キーで操作できるのは上シリンダーのみになりますので、別の出入り口を確保するか室内に人が居る状態で確認を行ってください。閉め出しのおそれがあります。

■ドアのブザー音と LED 表示について

ブザー音	LED 表示内容	お知らせ内容
ピッ ●	緑色で点滅（5 秒間） ☼ ● ☼ ●…	施錠中にタッチボタンが押され認証モードに入りました。
	赤色で点滅（5 秒間） ☼ ● ☼ ●…	解錠中にタッチボタンが押され認証モードに入りました。
	点滅→消灯 ●	認証モードが終わりました。
	緑色で点灯（1 秒間） ☼ ⟶	施錠できました。
ピッピッ ● ●	赤色で点灯（1 秒間） ☼ ⟶	解錠できました。
ピー ▬	緑→赤色で交互に点灯繰り返し ☼ ☼ ☼ ☼ …	登録ボタンが押され登録モードに入りました。
	点灯→消灯 ●	登録モードが終わりました。
—	緑色で点滅（アップデート終了まで） ☼ ● ☼ ●…	ファームウェアアップデート状態へ入りました。

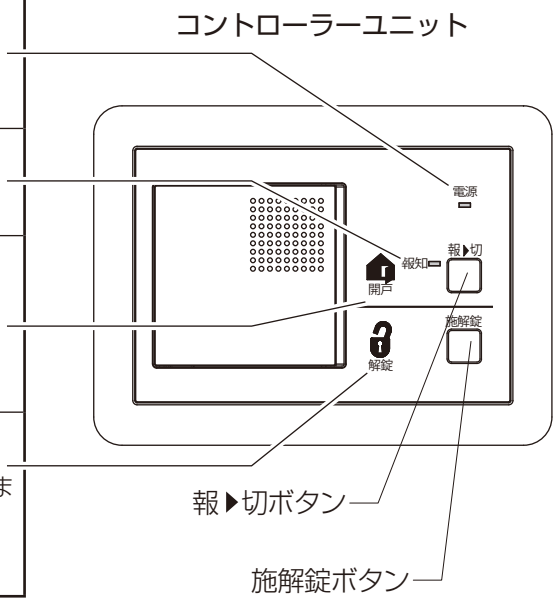


ブザー音	LED 表示内容	お知らせ内容	対処内容
ピピピピピ ▪▪▪▪▪	橙色で点滅（1.5 秒間） ☼ ● ☼ ●‥	ドアが開いた状態で施解錠操作が行われました。	ドアを閉めてください。
		施錠状態で登録ボタンが押されました。	登録の際は解錠状態で行ってください。
		サムターン作動途中でドアが開けられました	手動でサムターンを回し解錠にしてからドアを閉めてください。
ピピ × 8 ▪▪ ▪▪ ▪▪ ▪▪….	橙色点滅（2.5 秒間） ☼ ● ☼ ●…	上の錠（デッドボルト）がストライクに接触しています。	建付け調整を行ってください。→（枠取付け説明書を参照）
ピピピ × 6 ▪▪▪ ▪▪▪ ▪▪▪….		下の錠（デッドボルト）がストライクに接触しています。	
ピピ、ピピピ × 3 ▪▪ ▪▪▪ ▪▪ ▪▪▪…		上下の錠（デッドボルト）がストライクに接触しています。	
ピーピ × 4 ▬ ▪ ▬ ▪….	橙色で点灯（5 分間） ☼ ⟶	制御ユニット、リーダーの故障。もしくは扉内の配線に異常があります。	部品の交換が必要です。
ピーピピ × 4 ▬ ▪▪ ▬ ▪▪….		上箱錠の取付け不備または故障しています。	箱錠をドアから完全に取外し、再度取付けてください。それでも復帰しない場合は部品の交換が必要です。
ピーピピピ × 4 ▬ ▪▪▪ ▬ ▪▪▪….		下箱錠の取付け不備または故障しています。	
ピーピピ、ピーピピピ × 2 ▬ ▪▪ ▬ ▪▪▪ ▬ ▪▪ ▬ ▪▪▪		上下箱錠の取付け不備または故障しています。	
ピー × 4 ▬ ▬ ….		リーダーに一時的なエラーが発生しています。	電源を入／切して再起動してください。それでも復帰しない場合は部品の交換が必要です。
ピー × 8 ▬ ▬ ….		制御ユニットに一時的なエラーが発生しています。	
—	橙色で点滅（5 秒間） ☼ ● ☼ ●….	玄関キー（カードキーなど）が登録されていません。（出荷時）	カードキーの登録を行ってください。→（P.18）
ピッ ●	緑色で点灯（1 秒間） ☼ ⟶（作動なし）	玄関キーが登録されていません。（全末梢後 ／施錠時 ）	
	赤色で点灯（1 秒間） ☼ ⟶（作動なし）	玄関キーが登録されていません。（全末梢後 ／解錠時 ）	

※ S 型ハンドル (リーダー内蔵) やテンキー付屋外リーダーの場合、一部形状が異なりますが、ブザー音や LED 表示内容は変わりません。

■コントローラーユニットのブザー音と表示について

表示内容	お知らせ内容
電源表示が緑色で点灯 電源	電源が入ってます。
報知表示が緑色で点灯 報知	報知設定になっています。
開戸表示が赤色で点灯 開戸	ドアが開いています。
解錠表示が赤色で点灯 解錠	カギが上下２つとも解錠しています。



ブザー音	表示内容	お知らせ内容	対処方法
ピッ		施解錠ボタンが押されました。	
ピッ、ピッ、・・・・・・・		暗証番号登録モード中です。	
ピー		暗証番号登録ができました。	
ポロロン、ポロロン ・・・ ※初期設定では音は鳴りません。	報知表示が緑色で点灯中に開戸表示が赤色の点灯 開戸 報知	ドアが開けられました。	ドアを閉めてください。
ピー、ピッピッピッ音が一度だけ鳴る	電源表示と報知表示が交互に点灯する 電源 ◀▶ 報知	躯体内配線コードが短絡しています。	【電気工事区分】 躯体内配線の短絡箇所を確認し修理してください。
–	開戸表示と解錠表示、報知表示が同時に点滅する。	制御ユニットとコントローラーユニット間の通信が 24 時間途切れました。	コネクタ接続箇所と配線を確認してください。

商品仕様

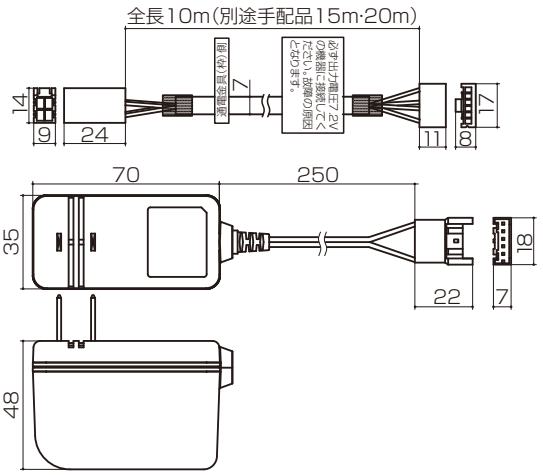
■コントローラーユニット

電源仕様	AC100V 50/60Hz
消費電力	最大：約8W／待機時：約1.5W
出力電圧	DC7.2V
音量	報知音(大)：約73dB(前方1m)
使用環境温度範囲	−10～50℃
使用環境湿度範囲	20～90%（相対湿度）
保存環境温度範囲	−20～60℃

■ACアダプター

電源仕様	AC100V 50/60Hz
消費電力	最大：約6.5W／待機時：約0.1W
出力電圧	DC7.2V
使用環境温度範囲	−10～50℃
使用環境湿度範囲	5～95%（相対湿度）
保存環境温度範囲	−20～65℃

■躯体内配線コード 外形寸法　外形寸法(単位mm)



■ドア側(AC式)

入力電源仕様	DC7.2V(コントローラーユニットまたはACアダプターより給電)
出力周波数	2402～2480MHz ／ 13.56MHz
電界強度	85dBμV/m ／ 112dBμV/m(参考)
無線局の種別	誘導式読み書き通信設備 2.4GHz帯高度化小電力データ通信システム／誘導式読み書き通信設備
使用環境温度範囲	−10～50℃
使用環境湿度範囲	20～90%（相対湿度）
保存環境温度範囲	−20～60℃
スマートフォン登録可能数 リモコン登録可能数	計10台(最大同時接続数6台)
カードキー登録可能数	最大10枚

■カードキー

使用環境温度範囲	−10～50℃
保存環境温度範囲	−20～60℃

■タグキー

使用環境温度範囲	−20～60℃
保存環境温度範囲	−20～60℃

■リモコン

入力電源仕様	DC3V リチウムコイン電池 CR2032 2個
電池寿命	約 1年（常温20℃ 操作：10回/日 ）
出力周波数	2402～2480MHz
電界強度	85dBμV/m(参考)
無線局の種別	2.4GHz帯高度化 小電力データ 通信システム
使用環境温度範囲	−10～50℃
使用環境湿度範囲	20～90%（相対湿度）
保存環境温度範囲	−20～60℃

■屋内ボタン

入力電源仕様	DC3V リチウムコイン電池 CR2032 1個
電池寿命	約 1年（常温20℃ 操作：10回/日 ）
出力周波数	2402～2480MHz
電界強度	85dBμV/m(参考)
無線局の種別	2.4GHz帯高度化 小電力データ 通信システム
使用環境温度範囲	−10～50℃
使用環境湿度範囲	20～90%（相対湿度）
保存環境温度範囲	−20～60℃

※本機器は総務省の技術基準に適合しており、総務大臣の許可なしに改造して使用することはできません。
　改造すると法律により罰せられることがあります。

以下の機器はパナソニック株式会社の製品です。
仕様については、パナソニック株式会社のホームページまたは各機器同梱の取付け説明書を参照ください。

■電気錠操作押ボタン　■ドアホンモニター親機
■シークレットスイッチ　■ドアホンカメラ玄関子機
■ JEMA アダプタ　■ワイヤレスモニター子機

MEMO

株式会社 LIXIL

商品についてのお問い合わせ・部品のご購入は、お客さま相談センターまで
受付時間/月～金 9:00～18:00　土・日・祝日 9:00～17:00（ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始等を除く）

TEL. 0120-126-001

外壁材に関する商品相談は‥‥旭トステム外装（株）サービスデスクナビダイヤル　TEL.0570-001-117
店舗関連商品に関する商品相談は‥‥TEL.03-3638-8152　月～金 9:00～17:00（祝日、年末年始、夏期休暇等を除く）

修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで
受付時間/月～金 9:00～18:00（祝日、年末年始、夏期休暇等を除く）

TEL. 0120-413-433　FAX. 0120-413-436

https://www.lixil.co.jp/support/

安全に関するご注意
ご使用の前に「取扱説明書」をよくご覧の上、正しくお使いください。また、取付設置工事は「取付設置説明書・施工説明書」に従ってください。いずれの場合も、取り扱いを誤ると事故や故障の原因となります。

個人情報保護について
当社は、当社取扱商品のユーザーさまおよび流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社の「個人情報保護方針」に記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「個人情報保護方針」をご覧ください。

●商品改良のため、予告なしに仕様の変更を行うことがありますのでご了承ください。

LIXIL

リシェント FamiLock AC100V式 取付け説明書

2024.10

株式会社 LIXIL

会社や商品についての情報のご確認は、LIXIL オフィシャルサイトまで

https://www.lixil.co.jp/

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CAD データなどの各種情報は、上記オフィシャルサイトからご確認ください。

取説番号 MAM-969E	事業所コード AZT6	2024.10.25発行

MAM969E